

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2016.05.No225

5月号

目次

会員増強への取組み	1
新入会員紹介	2
青年・女性の窓	4
[No.76 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会]	
J5団体紹介	5
実行委員会報告	6
[総務・情報]	
Coffee Break	7
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>



会員増強への取組み

会員増強特別委員会 委員 石塚 尚也 (恵庭支部)

「会員増強！」この言葉は今、あらゆる所で目にすると思いませんか？そしてこのコトバの後ろには必ずと言っていいほど「！」が付くのです。それだけ皆さん深刻なのだということなのでしょう。力を込めて取組んでいかねば…ということなのでしょう。

私たち建築士会も例外ではなく、まさに「！」という状況ですよね。「じゃあ何をすればいいんだろ～????」などと模索していた矢先、東京で開催された全国青年委員長会議で参考になるヒントをもらいました。

全国の青年建築士が集まり色々な問題について話し合うのですが、会員増強の為の様々な意見も出ていました。そんな中で、ある人がぼそっと自分の失敗談を語りだしたのです。

「今まで自分も必死になって会員増強を目指して、色々なことに取り組んできました。でも、後になって振り返ると、そのことばかりに気をとられて、会としての本当の柱を見失っていたように思えるのですよ……」

どうでしょう？

私はこの時に、とても大きなヒントをもらったと感じました。わかりきっていて、とても当たり前な話だとも思うのですが、なんともズッシリと響きました。本当にしっかりと芯のあることをやって行くということ。そしてその会自体を楽しく、ためになるものにする、という事がまずは一番なのだ。

私が建築士会に入会したときのことを思い出してみました。初めてイベントに参加をした時は、まさに「なんとなく」です。でもその集まりがとても楽しくて、その先の仕事やプライベートにしっかりと繋がっていったので「また参加しよう」という気持ちになったのだと思います。楽しいイベントがあっ

たり、勉強になるセミナーがあったり、ということです。とはいえ、まずは1回参加してもらわなければ何も始まらないので、そのキッカケづくりは必要となってくるのでしょうか。

さて、このキッカケづくりとしての「会員増強への取組み」を先日行いました。

■一級建築士免許証明書交付式×合格祝賀会

合格祝賀会では、実際に合格者の皆さんと色々なお話しをすることが出来ました。その中で数人の方々から、試験前に開催した「製図試験課題の建築見学会」はとても参考になった、とのお言葉をいただきました。「やっぱり教科書で見ると、実物を見るのでは大違い。頭にしっかりと入ってきますね」ということでした。そして青年委員会が担当した余興コーナーでは、試験中の苦労話などを一人一人に面白おかしくスピーチしてもらい、終始笑いの絶えない祝賀会でした。

そして新規入会者2名です！！

う～んもう一声！と聞こえてきそうですが、とても実りのある、そして今後につながる取組みだったと思います。そしてこの事業は東西アスファルト事業協同組合様の助成金にて開催させていただきましたことをここに報告し、この場をお借りして御礼を申し上げます。

しっかりとした柱を持って、自分達が楽しく、そしてためになる事をやっていけば、自然と同志は集まってくるのだ！……とは言いつつも、なかなか上手くはいかないものですよ……。

でも、やっぱりこの事は「大切なコト」なんだろうな～と思うのです。

新入会員紹介

建築士会に入会して

水谷 ひとみ (小樽支部)



■ 勤務先

西條産業株式会社

■ 仕事内容

住宅のインテリアコーディネーター

■ 入会年月日

平成27年1月1日

■ 建築士会での活動

パーソナルカラー講習会、小樽雪あかりの路、家庭科住教育出張講座

■ 建築士会入会のきっかけ

入会前から何回か活動に参加させていただき、興味がありました。上司や専門学生時代の恩師が会員ということもあり、安心して入会しました。

自己PR

江別を離れ、小樽に住み始めて丸3年が経ちました。平坦で山のない江別とは違い、急な坂・壮大な山々・広い海が身近にある小樽。当初は驚きの連続でしたが、今ではもうすっかり慣れました。通勤途中の坂から見下ろす景色は絵に描いたように綺麗で、毎日癒されています。仕事は今年で入社4年目。建築士としてはまだまだですが、住宅のインテリアコーディネーターとしてお客様の家づくりのお手伝いをしています。知識を付けるのも大事ですが、お客様や業者さん・社員とのコミュニケーションも大事だということを、今とても痛感しています。お客様に笑顔になっていただくために、今後も邁進したいと思います。仕事に関連して、今年はインテリアコーディネーターの資格を取得しました。来年は1級建築士

試験を受験する予定で、現在テキストと格闘しています。合格できるよう頑張ります。建築士会の活動に数回参加していますが、同世代の女性委員さんにまだお会いしたことがありません。いろいろな世代の方から貴重なお話を聞くのはすごく為になりますが、やっぱり同世代の方とお話ができないのは少し寂しいです。今後、建築士会の活動を通して、建築に興味のある若い世代の女性が増えてくれるといいな~と思います。これからどうぞよろしくお願ひ致します!!



今年最初の活動で小樽水族館へ！バックヤードも見学し、大満足！ペンギンの行進もかわいいですね☆(^-^)

大工あがりの建築士

徳留 裕 敏 (室蘭支部)



■ 勤務先

(有)Rize international

■ 仕事内容

構造設計

■ 入会年月日

平成27年5月13日

■ 建築士会での活動

まだ青年。色々がんばります！

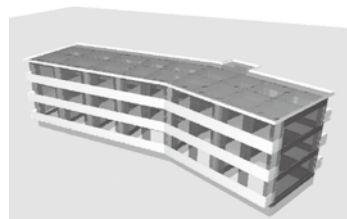
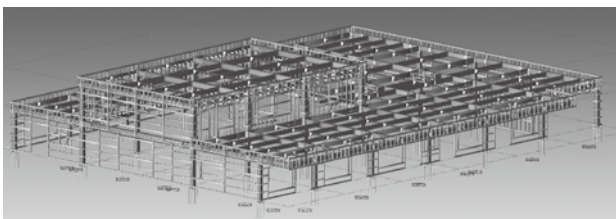
■ 建築士会入会のきっかけ

以前大阪在住時に、大阪府建築士会に入会していました。その経験から、今回、転職・引越を機にご当地建築士会においても活動したいと思いました。

自己PR

大阪出身。大工をしながら身体で力学を感じ、たどり着いた結果、今では構造設計をやっています。遅咲きながらも構造設計一級建築士を取得し、こつこつ頑張っています。木造、RC造、S造等何でもやっていますが、特に弊社では鉄工所を併設していることから、特殊なS造こそ

得意としております。全道、全国ともに対応しておりますので、ご相談ください。趣味では、雪のない大阪から来たということで、スノーボードをしながら北海道を満喫しています。休みのたびに行きたいところですが、休みがとれるかは……。



ようこそ建築士会へ 一緒に楽しんで、学んで、そして発信しましょう！

持続的な地域運営を目指して

松村博文 (旭川支部)



■ 勤務先

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
北方建築総合研究所

■ 仕事内容

地域運営、コミュニティデザインに関する調査研究

■ 入会年月日

平成28年1月1日

■ 建築士会での活動

旭川支部 理事

■ 建築士会入会のきっかけ

日頃の仕事を含めて広く社会のために役に立てるようになると思い入会しました。

自己PR

私が最初に働いたのが旭川市内にある林産試験場でした。その際には、建築士会の方々にも大変お世話になりました。その後、札幌市にある北海道立寒地住宅都市研究所に異動し、途中2年間の道住宅都市部建築指導課を経て、現在の北方建築総合研究所で勤務しています。現在は、農村

集落の地域運営や市街地での住替え促進、中古住宅流通の活性化などの研究に取り組んでいます。これらはいずれも机上でできません。事件は現場で起きています。研究の成果を活かして建築士会の活動に取り組めればと思います。よろしくお願いたします。



多趣味な防水屋さん

河田将和 (札幌支部)



■ 勤務先

(株)濱建

■ 仕事内容

防水工事

■ 入会年月日

平成27年9月16日

■ 建築士会での活動

青年委員会に入りました。
楽しんで楽しませていきたいです！

■ 建築士会入会のきっかけ

建設業の先輩がたからいろいろ勉強させてもらいたいと思い入会しました。

自己PR

前職で住宅の設計・営業・現場管理をしていました。いまは防水を勉強中です！！
アスファルト、ウレタン、塩ビシート、ケミラス、ポリマーセメント系塗膜など、防水

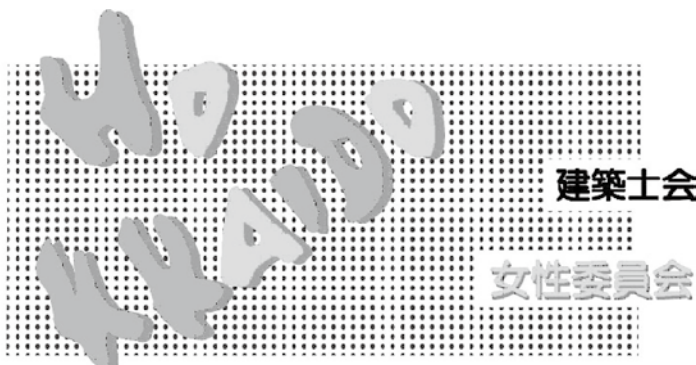
今は特にゴルフにはまってまして、週二で練習し月一程度でラウンドして楽しんでおります。
同年代のゴルフ仲間募集中です！！



に関して何かありましたらご連絡ください！
趣味が多く、家ではマンガやアニメ、外ではスノーボードにゴルフ、夜は飲み会にダーツなど、興味もったものはなんでもやっています。



No. 76



私らしいこだわりのインテリア
藤女子高校住教育出張講座報告
往田 協子 (札幌支部)

**建築士と一緒に
楽しく学んで防災博士になろう**
高見 友子 (旭川支部)

1月16日(土)に、「建築士と一緒に楽しく学んで防災博士になろう」を実施しました。

最近のさまざまな自然災害をふまえ、比較的災害が少ない旭川でも、いざという時の備えや防災を考えるきっかけに、楽しく学んでもらおうと、一般市民向けに社会貢献の一環として行いました。「地震時の我が家のバーチャル体験」で北海道大学 空間防災講座都市防災学研究室の中嶋唯貴氏にも協力いただいています。

冬休みに科学館へ来館されていた市民の皆さんに参加してもらい、受付では旭川市のハザードマップを使って、参加者に避難場所を確認して頂いてから自由にブースを回ってもらいました。

避難場所を知らなかったり、水害時の自宅の浸水高さにビックリする人も！通りすがりの参加者の反応が心配でしたが楽しく過ごしてもらえたようです。



当日の来場参加者の(大人)へのアンケートでは、とても満足56%、満足44%と満足度は高く、今後防災について何か取り組みたいですかの問いでは、とても思う24%、思う64%「こどもにも『もしも…』と話していこうと思う」「ドアの前に家具が無いか確認しようと思いました」などの回答があり参加者の防災への意識の高まりが感じられました。釧路支部女性委員会提供防災レシピ“乾パンティラミス”も作りたいと人気。総勢22名(事務局・講師含む)スタッフからは疲れたけど楽しかった！が多かったようです。年度内に無理の無い範囲で再度開催できないかと検討中！ですが、さて？青年委員会と企画の段階から一緒に活動は初めてだったと思います。今後も協力していけたらいいなと思います。

昨年から住教育運営委員会により濃く住教育出張講座に関わらせて頂いています。先輩との語らいの中で、札幌支部事業の藤女子高校の講座について、女子校だし一人暮らし目の生徒も多いので、インテリア要素も盛り込んだ提案をしようということになりました。

11月初回学校との打合せで間取りキットをベースにしたインテリアボード作成を提案。その直後にインテリアチームを作りブレインストーミングから始め、講座構成、インテリア講義スライド作成、サンプル・カタログ取寄、サンプルボード作成など、文字通りゼロから講座内容を組み立てました。

講座は2回に分け、1月27日の初日はスライド講義の後、間取りキット作成。いろいろ考える作業に生徒達からため息が漏れました。

2日目の2月3日はいよいよインテリアボード作成。もっともっと納得のいくものにしたいた熱気が生徒達から溢れ、長時間集中力と遂行力は途切れることはありません。理想の暮らし、憧れの暮らしをイメージしてじっくりサンプルやイメージ写真選び、全員が時間内に完成、発表しました。

生徒の感想は「将来役にたちそう」「住まいやインテリアを考えることは楽しい」。先生も「こんなに一生懸命に取り組むとは」と来年も是非にと言っていました。



2016年1月16日
AM11:00~PM4:00
旭川支部 旭川科学館サイマル (特別展示室)

☆地震時の我が家のバーチャル体験!
☆スタンプラリーをしながら防災を学ぼう!!

主催: (一社)北海道建築士会 旭川支部 女性委員会・青年委員会
お問い合わせ先
(一社)北海道建築士会 事務局 旭川市稲穂通7丁目 0166-22-8894

北方建築総合研究所や旭川市消防本部の防災担当の方々にもアドバイスいただきながら、「私たちが考えた楽しいこと！」をやろうというものでした。今回は、青年委員会も企画の段階から参加してくれることになり、7ブースを巡って学んでもらうスタンプラリー形式が実現できました。

建築構造設計を通じて、社会の福祉増進 及び文化醸成に貢献するJSCA

北海道支部長 向山 松秀

一般社団法人・日本建築構造技術者協会 (Japan Structural Consultants Association、以下 JSCA と略記) は、1989年に設立された建築構造に関する高度な技術と豊富な実務経験を有する建築構造関連技術者の団体です。構造設計一級建築士または構造設計実務経験5年以上を条件とする正会員のほか、4種に区分される会員で構成され、約4,600名の会員がいます。JSCAは建築構造の設計・監理等に関する各種事業を企画、建物の質の向上に貢献することを目的に、下記のような活動を行なっています。

- ・幅広い専門知識と豊富な経験及び高い倫理観を有する「JSCA建築構造士」の認定
- ・最新の知見や高度な構造技術を普及させるための構造技術関連各種シンポジウム・講演会開催
- ・創造性豊かな構造設計作品や優れた業績に対する「JSCA賞」の授与
- ・新しい技術や研究成果・協会活動などを満載した会誌『structure』の発行
- ・耐震診断・補強判定や構造レビューなどの各種技術評価
- ・大震災時の被害状況調査を始めとする復旧・復興支援活動

JSCAの組織は本部 (東京)・大阪事務所に加え、地域毎に区分された8支部から構成されています。北海道支部は、前身の構造家懇談会を母体に設立され、会員13名でスタートしましたが、先輩たちのご尽力で大きく発展し、いまでは正会員約130名、賛助会員31社、2つのサテライトを有する規模になっています。支部では講演会や見学会などを開催し、会員の建築構造技術の研鑽に努めていますが、耐震診断判定機関や構造計算適合性判定機関に委員派遣する等の社会貢献も果し、2010年には活動の成果が認められ、北海道知事から「北海道産業貢献賞」を受賞しています。

また、地域に根ざした会員サービスを提供できるよう、特長ある活動を行なっています。2011年から毎夏開催する「構造設計交流会」がその一つです。北海道大学建築都市スタジオ棟に会員や建築系学生が集い、設計作品の発表や日頃考えていることの見聞交換を行います。若手設計者や学生に構造設計の役割や苦楽を伝え、完成建物や雑誌では知り得ない設計現場の声を伝える格好の機会となっています。もう一つが、構造設計の初歩知識習得を目的とし

て、2014年から開催している「おがるセミナー」です。「おがる」は北海道弁で“成長する”の意ですが、初年度は鉄骨造に関する4回連続セミナー「鉄骨造を学ぼう」を開催しました。セミナー終了後には、いくつかのテーブルに分かれ、ファシリテーターを中心とした意見交換も行って、知識の理解を深める配慮を加えています。本年度は「木造を学ぼう」、次年度は「プレストレストコンクリート構造を学ぼう」を予定しています。

ところで、建築設計の分業化が進む中で、独自認定資格を有する専門家の相互協力を促進させようと、建築専門家団体 (J5) が2014年に結成されました。JSCAも構造設計に関わる専門家団体で「JSCA建築構造士」を認定する団体として、J5に参加しています。この資格は、豊富な専門知識と経験、優れた技術力を用いて、構造計画の立案から構造設計図書作成までを統括し、構造に関する工事監理を行うなど、建築構造全般についての的確な判断を下すことの出来る技術者に対して授与されています。認定に際しては、優れた構造設計者として資格認定試験を行い、技量・資質共に備えていることを確認しています。加えて2006年以降は、建築士法改正により構造設計一級建築士制度が創設されたことを受けて、構造設計一級建築士であることを受験資格要件としています。したがって、構造設計一級建築士に要求される実務遂行能力に加え、以下の能力も含めてJSCAが特に認定した構造設計技術者ということができます。

- ①我が国の構造設計界をリードする見識と高い専門能力を有すること
- ②一般社会に対して建築構造設計について明確に説明ができる能力を有すること
- ③建築構造設計技術者として高い職業倫理を有すること
- ④建築構造設計者の職能向上に寄与する活動を行うこと

このように、JSCAは、様々な活動や専門資格の認定を通じて、求められる性能を満たし、快適で、地球にやさしく、安全・安心で長持ちする建物を提供していくことにより、社会の福祉増進及び文化の醸成に貢献することを目指しています。

『森か木か？
やるか、やらないか。』



総務委員会

委員 高橋 幸二（日高支部）

『委員会の在り方、建築士会の意義について。はい、高橋さんご意見は？』西岡委員長。

平成28年の第1回総務委員会が開催され、第2期西岡総務委員会のメンバーに招集されました。『高橋さんには、忌憚のない面白いアイデアを期待しています。元気をお願いします。』FBのメッセージを思い出しながら、これまでの建築士会への関わりと思いを意見させてもらいました。

西岡総務委員会は2期目に入りました。前号新委員長長の挨拶では～【会の活動の下支えであり、建築士であるがゆえに関われる活動と組織の在り方を考え、社会に発信する役割を担う】とまとめ、初回の委員会では、広く会員の考えを集約するアンケート項目のとりまとめ、それを踏まえての委員の考え方の方向性と集約・精査への手順まとめの会議となりました。委員会の担う仕事は、規約や会則に、これまでの慣習的行事の明文化と履行ですが、前委員会での課題でもあり、全体での問題点でもある、会員増強と、それに伴う高齢化（新規入会が激減と社会構造の反映）会員への会への関わりを主眼に議論されています。

一人の建築士として、また一人の会員として、忌憚のない意見は、自己の満足への欲求と要望で終わりそうですが、その意見がなければ、一人の振動が組織の原動力に繋がらないのではと感じます。一人の振動に仲間が共鳴共振して、その振動が大きなものになり全体を突き動かす。勿論、その考えや価値は一つだと、いつか沈静化してしまうので、より多くの振動が起きなければなりません。組織が成熟し、役割分担が明確になっていても、一人の会員が意見できる、思いを伝えられる、そして発信できる組織が、より社会において貢献し、建築士としての全体像が認められ、親しまれる団体になると思います。

木を見て森を見ずから、森を守るために1本の木を忘れない。会員の数も大切ですが、一人一人が振動できる環境造りを心掛け、実行できるように私も振動し続けようと思います。西岡委員長はじめ、仲間の委員、そして事務局と共振し、会の益々の振動を促すことができるよう関わりを持ちたいと思います。会議後の飲みケーションにて、コップの小波は抑えつつ・・・全道各地の振動と小波を思い浮かべ、西岡総務委員会を盛り上げ、北海道建築士会の発展に小石を投じながら、寄与できればと思います。

参加型の紙面づくりを
目指して



情報委員会

委員長 早川 陽子（小樽支部）

会員の皆様こんにちは。いつも「北海道建築士」をお読みくださりありがとうございます。

第1回委員会（4月9日（土））の報告を致します。

*委員は早川（小樽）、斎藤（旭川）、高松（上富良野）、森（日高）、熊谷（苫小牧）、柳山（札幌）、鈴木（釧路）、柏倉（士別）の8名でスタートしました。

*担当理事が松崎さんから久島さんに代わります。

今年の目標「次号が楽しみになる紙面づくり」

を目指して活発なアイデアが出されました。

その1 編集委員自ら取材した記事を書いてみよう

私たちは編集の中心に居ます。皆さんからの情報を大切にしながら、自ら取材したことを自分の言葉で伝えてゆきたいと思います。実行は少し先になりますがご期待ください。

その2 出来るだけフレッシュな報告を提供しよう

編集は発行の2か月前から始まります。イベントなどの報告は早目の原稿依頼を心がけますので、ご協力をお願い致します。（特に実行委員長さん）

その3 HPをより活用してもらおう工夫をしよう

会員はもちろん、ゲストにとって役に立つHPを。

見やすさ、使いやすさを考えます。各委員会は更新をより迅速に、各支部のページは現状を調査し改善点を考え、併せてサポートも検討してゆきます。

その4 号外発行（室蘭大会）をがんばろう

3年目の号外。当日は大変ハードなスケジュールで、必ず予想外の事件があります。（苦笑）その経験を踏まえ、マンネリにならない紙面を心がけます。



第1回委員会は新旧担当理事を迎え全員が出席。懇親会ではそれぞれの仕事、プライベート、趣味などに話題が及び、これからの活動へ向け共通の意識を持つことが出来ました。

これからも情報委員会をよろしくお願い致します。

根室支部

地域ボランティア活動



青年委員長
村上 晃仁

根室支部青年委員会では、毎年地域ボランティア活動として、市内の保育所修繕を行っています。この奉仕活動は、元々「根室工事業組合青年部」が長年行ってきた活動でしたが、平成17年より「建築士会根室支部青年部会」が引き継ぎ、今年で12年目になる支部恒例の活動です。修繕内容は、椅子、遊具のビス・ボルトの締め付け整備・机・収納棚の破損修理、建具の戸車交換・調整・木枠の塗装などで、事前に保育所サイドから要望を聞き取り、約半日掛け市内の保育所3カ所に分かれて作業に当たり汗を流しました。支部委員の中に大工、建具等の技能士

を持つ手先が器用な頼もしい建築士が多いことから、修繕後は「綺麗になった」「また来年もお願いします」といった喜びの声を頂きました。毎年、各保育所より好評を頂いている根室支部のメイン事業です。また、作業終了後には会員の親睦を図る場を設け、会員同士の交流も深めています。しかし、当支部においても高齢化の波が押し寄せていることから、今年度より年齢上限を45歳から50歳まで引き上げ何とか現在21名の委員で活動しています。年々減少傾向にあります。が、「地域に貢献する建築士会」としてこれからも継続したいと思えます。



名寄支部

北海道建築士会 名寄支部定期総会・建築基準法講習会開催



事務局長
中野 博

去る、1月25日(月)に市内の紅花会館において平成28年度北海道建築士会名寄支部定期総会が開催されました。

当日は会員59名のうち、23名(ほか委任状24名)が出席し、議長には高橋直樹氏、北野学氏を選出して議事が始まり、初めに遠藤支部長のあいさつがあり、その後に報告事項として平成27年度事業報告及び一般会計・特別会計決算報告と監査報告、続く平成28年度事業計画及び一般会計及び特別会計予算について、ともに全会一致で承認を頂きました。

その後の懇親会では冒頭で名寄建設業協会の五十

嵐会長の挨拶があり、また地元名寄産業高校建築システム科の和田先生や宮崎先生などが賛助会員として出席され、和やかな雰囲気楽しいひと時を過ごしました。

名寄支部も年々活動予算が減少しておりますが、これからは会員や役員と知恵を出し合いながら、名寄産業高校や地元建設業界と協力して技術の継承や後継者の育成のために地域貢献して参りたいと考えております。

また、2月9日には建築基準法講習会が開催され17名が参加しました。

当日は上川総合振興局旭川建設管理部建設指導課職員や市建築課職員を講師に建築基準法等改正の動きや関連法令について講習を実施し参加者は資料を見ながら真剣に受講しておりました。

笠原爺ィの釣り日誌

～DNAと背後霊「魚釣り八十八か所」の巻～

3

爺ィは、釣りのド素人

が、爺ィは、40年間、釣りをしたことが無かった。

「やってみたい」と思った事は有るが、仕事が忙しくて、ソナナ暇は無かった。爺ィは、子供の頃、浦河と云う町で、父親に近くの川の「鮎釣り」に連れてってもらった。

父親の自転車のハンドルと、サドルを繋ぐ棒に、座布団巻き付け、紐で縛ってソレに跨り、振り落とされないう様、父親が握ったハンドルの内側に、シッカリ掴まって。

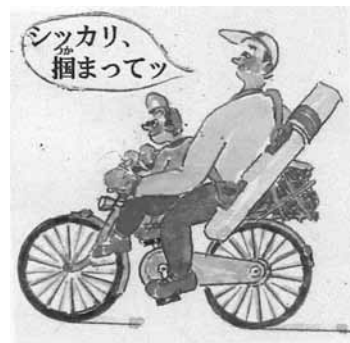
餌は、馬小屋の「ミミズ」。75年前、その頃は、近くの川にも、鮎っこ、鱒っこに、ウグイスやメダカが沢山いた。釣りは、面白くて面白くて、父親の休みの日が、待遠しくて待遠しくて、たまらなかった。

爺ィにも、2人の男の子が生まれ、その子達が小さい頃、良く釣りに連れて行った。が、ソレッキリ。

やっと、暇が出来て、ご先祖様から貰った「釣好きDNA」、今頃、芽を出した。(イヤ、誰でも持ってるヨ、コノDNA!)

背後霊様もご承知。 なら、行こうか!

つづく



CPD認定プログラム(5月認定)

- ◆平成28年度 建築士の集い(富良野大会)
 (日程及び会場) 5月21日(土) 14:00~17:00
 フラノマルシェ2 アトリウム「タマリーバ」(富良野市)
 (単位数) 3単位
 (問合せ先) (一社)北海道建築士会
 Tel. 011-251-6076
- ◆応急危険度判定机上訓練
 (日程及び会場) 5月28日(土) 14:10~16:30
 会場未定(苫小牧市)
 (単位数) 2単位
 (問合せ先) (一社)北海道建築士会
 Tel. 011-251-6076
- ◆平成28年度 北海道住宅検査人登録講習会
 (日程及び会場) 6月15日(水) 13:00~17:35
 北農健保会館 4階 芭蕉(札幌市)
 (単位数) 4単位
 (問合せ先) (一社)北海道建築技術協会
 Tel. 011-251-2794
- ◆ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2016
 「田根剛スペシャルトークイベント」
 (日程及び会場) 6月22日(水)
 旭川家具センター(旭川市)
 (単位数) 2単位
 (問合せ先) 旭川家具工業協同組合

道士会の動き

道本部の主な会議報告(4月)

- ◆第1回情報委員会
 (開催日) 4月9日(土)
 (議題)
 1) 会誌「北海道建築士」について
 2) 全道大会(室蘭大会)号外について
 3) 会員作品発表について
- ◆第1回青年WEB会議
 (開催日) 4月16日(土)
 (議題)
 1) 青年建築士の集いについて
 2) 建築士(会)周知イベント(建築士の日イベント)について
 3) 全道大会について
- ◆第2回総務委員会
 (開催日) 4月23日(土)
 (議題)
 1) 平成28年全道大会 大会サブテーマについて
 2) 表彰規定、要項の見直しについて
 3) 会員へのアンケート項目について
 4) 会員のニーズに合った委員会組織の在り方について
 5) 専攻建築士・CPDについて

編集後記

みなさんはどうして士会に入会しましたか?
 “楽しそう”、“仕事に活かせる”、“知り合い増えそう”、“先輩が強引に…”等々あったと思います。私は“あれ?いつの間にか入ってる”でしたが、士会に入ったことで全道の仲間と知り合い、人の繋がりが出来たことにとっても感謝しています。こんな「入って良かった」ということを、士会の外に向けて、そして入会を迷っている人達の背中を押すために発信していかなければなりませんね。良いPR方法などあれば情報委員会へも御一報を!
 情報委員会 高松 徹(上富良野支部)

関係機関等会議出席状況(5月)

- 16日 建築系CPD協議会運営委員会 高野会長出席
- 27日 日本建築士会連合会理事会 高野会長出席
- 30日 日本建築士会連合会役員選考委員会 高野会長出席

道本部の主な行事予定(5月)

- まちづくり委員会WEB会議(開催日) 5月14日(土)
- 第3回理事会(開催日) 5月20日(金)
- 青年建築士の集い(開催日) 5月21日(土)

情報委員会からのお知らせ

- 札幌のインテリア・雑貨ショップ巡り 5月28日(土)
 主催:女性委員会道央Aブロック(小樽支部)
 定員:15名 参加無料 申込:011-251-6076
- 旭川デザインウィーク 6月22日(水)~26日(日)
<http://www.asahikawa-kagu.or.jp/adw/>

締切りせまる

平成28年度 (一社)北海道建築士会会員作品の募集

応募対象

- ①対象建物 平成24年以降に竣工し、検査済証の交付を受けた建物で、その用途、規模等は問いません。ただし、確認申請を要しない建物は、検査済証は不要です。
- ②対象者 本会の正会員(応募建物の設計、及び施工管理者等、責任ある立場で建築に携わった者に限り)
- ③応募作品 1人若しくは1グループで1点とします。

所有者等の了解

予め所有者、管理者等の了解を得てください。

応募締切

平成28年5月20日(金) 必着

応募資料

- ①申込書 所定の申込書を本会HPからダウンロードして記入してください。
- ②提出資料 図面(平面図・断面図・配置図等)及び完成写真(内・外装)等の画像データ3点と上記申込書を、CD-ROMに記録して提出してください。(応募作品は返却しません)

作品掲載

応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し「北海道建築士No.229」に掲載します。
 ※詳細は、北海道建築士会HPをご覧ください。

情報委員会委員長/早川 陽子
 副委員長/齋藤 勝哉・高松 徹・森 勝利
 委員/熊谷 智・柳山美保子・鈴木 雅人
 柏倉 晶憲

北海道建築士 No.225号

印刷 平成28年4月/発行 平成28年5月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
 大五ビル
 電話 (011)251-6076番
 URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
 電話 (011)811-7151番